

申請者の氏名（又は名称）：

収容率及び人数制限の緩和を適用する場合の条件 チェックリスト

観客に大声での歓声・声援等がないことを前提としうる場合（詳細は裏面参照）、国が示した感染防止策の徹底等を前提に100%以内の収容が可能となります。

この場合、イベントの主催者は、下記の感染防止策の徹底を図るとともに、このチェックリストを事前に当館に提出して、十分に確認・協議を行ってください。

（1）徹底した感染防止等（収容率等を緩和する場合の前提）

チェック	項目	ポイント
	①マスク着用の担保	<ul style="list-style-type: none"> マスク着用状況が確認でき、個別に注意等ができるもの ※マスクを持参していない者がいた場合は主催者側で配布
	②大声を出さないことの担保	<ul style="list-style-type: none"> 大声を出す者がいた場合、個別に注意等ができるもの ※隣席の者との日常会話程度は可（マスクの着用が前提） ※演者が歌唱等を行う場合、舞台から観客まで一定の距離を確保（最低2m）

（2）基本的な感染防止等

チェック	項目	ポイント
	③手洗	<ul style="list-style-type: none"> こまめな手洗の奨励
	④消毒	<ul style="list-style-type: none"> 主催者側による施設内のこまめな消毒、消毒液の設置、手指消毒
	⑤換気	<ul style="list-style-type: none"> こまめな換気
	⑥密集の回避	<ul style="list-style-type: none"> 入退場時の密集回避（座席指定、時間差入退場等）、待合場所等の密集回避
	⑦飲食の制限	<ul style="list-style-type: none"> 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限 休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底
	⑧参加者の制限	<ul style="list-style-type: none"> 入場時の検温、入場を断った際の払い戻し措置
	⑨参加者の把握	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握 接触確認アプリ（COCOA）や各地域の通知サービスの奨励
	⑩催物前後の行動管理	<ul style="list-style-type: none"> イベント前後の感染防止の注意喚起

（3）イベント開催の共通の前提

チェック	項目	ポイント
	⑪地域の感染状況に応じた対応	<ul style="list-style-type: none"> 全国的な移動を伴うイベントは、事前に収容率制限等も含めて都道府県と相談 地域の感染状況の変化があった場合は柔軟に対応

【参考】

各種イベントにおける大声での歓声・声援等がないことを前提としうる／想定されるものの例

大声での歓声・声援等がないことを前提としうるものの例	大声での歓声・声援等が想定されるものの例
【音楽】 クラシック音楽（交響曲、管弦楽曲、協奏曲、室内楽曲、器楽曲、声楽曲等）、歌劇、楽劇、合唱、ジャズ、吹奏楽、民族音楽、歌謡曲等のコンサート	【音楽】 ロックコンサート、ポップコンサート 等
【演劇等】 現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、読み聞かせ、手話パフォーマンス 等	【スポーツイベント】 サッカー、野球、大相撲 等
【舞踊】 バレエ、現代舞踊、民族舞踊 等	【公営競技】 競馬、競輪、競艇、オートレース
【伝統芸能】 雅楽、能楽、文楽・人形浄瑠璃、歌舞伎、組踊、邦舞 等	【公演】 キャラクターショー、親子会公演 等
【芸能・演芸】 講談、落語、浪曲、漫談、漫才、奇術 等	【ライブハウス・ナイトクラブ】 ライブハウス・ナイトクラブにおける各種イベント
【公演・式典】 各種講演会、説明会、ワークショップ、各種教室、行政主催イベント、タウンミーティング、入学式・卒業式、成人式、入社式 等	
【展示会】 各種展示会、商談会、各種ショー	

・上記は例示であり、実際のイベントが上のいずれかに該当するかについては、大声での歓声・声援等が想定されるか否かを個別具体的に判断する必要がある

・イベント中の食事を伴うものについては、「大声での歓声・声援等がないことを前提としうるもの」として取り扱わない。

(令和2年9月11日付け内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長通知より抜粋)